



先ず、2024年の新年におきまして、信越、北陸、能登地域で発生した大きな地震や津波、火災、羽田空港で発生した航空機事故等、誠に残念ながら心が痛む災害や事故が起きてしまいました。

被災された皆様や事故に遭われた皆様へ心からお見舞い申し上げますとともに、犠牲になられた方々とそのご家族、ご親族の皆様へ心からの哀悼の意を表します。

弊社グループを代表しまして、東神電工株式会社代表取締役社長の本木保則より2024年年頭挨拶をさせていただきます。

お客様、お取引様、ステークホルダーの皆様、新年明けましておめでとうございます。

旧年は、大変お世話になり感謝と御礼を申し上げます。

皆様におかれましては、本年が素晴らしい一年となり、ご繁栄されますことを心よりお祈り申し上げます。

グループ社員の皆様、弊社関係者の皆様、2024年を迎え、新年のご挨拶を申し上げます。年末年始はゆっくりとお休み、リフレッシュすることができましたか？

昨年の業界は、新型コロナウイルス感染症の影響で、物流コストをはじめ各種の部品や材料の高騰等で今までのビジネススタイルやモデルでは難しい局面も多々ありました。一部の材料等は在庫過多があり半導体においても予想より回復が遅れた年でもありました。

この様な状況ではありましたが、新しい年を迎え、弊社グループは、昨年の教訓を生かすべく新たなビジネスモデルの構築や産業に参画して参ります。

今年は多くの国や地域で各種の選挙が予定されている「選挙の年」でもあり、その結果によっては、今後の世界経済に大きな影響が予測されます。台湾総統選挙を皮切りに、インドネシア、ロシア、韓国、インド、メキシコ、欧州議会等の選挙が続き、今年11月には米国大統領選挙が予定されており、この米国における大統領選挙の結果次第では、アジアをはじめ、EU、南米、アフリカ、中東地域への経済的及び安全保障に関する状況に大きな影響を

与えるものと考えております。

弊社グループにおける海外法人や、海外取引先、工場等に対する危機管理、リスクマネジメントを強化し、新たなサプライチェーンの構築や他のサプライソースの確保等を含め、予期せぬ出来事に対する体制強化並びに基盤強化を進めて参ります。

また、成長戦略としては、銅の高騰に伴いアルミ素材、その他素材の開発等に努め、既存のビジネスモデルに於ける事業基盤を強化して参ります。

更に、産学共同研究による新たな商品開発やグループの成長を進めていくうえで、国内外における企業の提携や M&A を進めて参ります。

弊社においては、ダイバーシティの考え方の下、国籍や男女差別、働く女性の適正で平等な評価や待遇、子育てをしている男女社員が、有給休暇を活用するだけでなく、中小企業では珍しい独自の施策として、家族の病気や看護、介護、学校や子どもに関係することで休まなければならない、または時短勤務をしなければならない社員を支援するために、出勤扱いとすることや時短勤務でもフルタイムの賃金を保証し、社員等の給与から控除をしない「公的事由」という休暇制度を運用しております。

弊社で働くすべての関係者には、正規雇用・非正規雇用関係なくスキルアップ等における各種の研修に参加してもらい、自らを磨き続ける機会の提供や各々の強みを掛け合わせたワロンチームとしての総合力を発揮できる環境を強化しております。

昨年組織した各種委員会では、弊社で働く関係者全員が各委員会に委員として参加し、自ら改善、改革、発言等ができる仕組みを構築し、また、デジタルトランスフォーメーション(DX)を推進する組織を新設し、業務効率化を図るため全社一丸となり横断的組織としました。

弊社は、品質向上を図るべく、環境・品質・業務・労務等における ISO 策定に取り組み、更なるサービス品質の向上に努めて参ります。

激動の年、変化の激しい時代において、新たな価値観と創造をしながら最大限のパフォーマンスを発揮するため、弊社社員の心身を健康に保つことがこれまで以上に重要となってきます。

弊社グループは、現場主義を改めて徹底することでビジネスチャンスを実にモノにする「たくましいビジネスパーソン」を目指し、2024 年も、お客様の方を向いて足元のビジネスを丁寧に拾い、着実に収益を積み上げ、新たな収益ステージに挑戦し、非財務面の強化

も継続することで、全国の中小企業様と共に、更なる企業価値向上を目指して参ります。

東神電工グループの更なる活躍と商売繁盛、そして東神電工グループの社員とご家族のご健康とご多幸を祈念し、私からの新年の挨拶とさせていただきます。

2024年1月1日

東神電工株式会社グループ

代表取締役社長 本木 保則